

EUREKA	超新星残骸へのジーナス統計の適用 —Ia型超新星はボコボコしている？	佐藤寿紀	199
	地球の宇宙線起源同位体に記録された 過去の極端太陽イベント	三宅英沙	208
シリーズ：天文学者たちの昭和	海部宣男氏ロングインタビュー 第1回：少年時代～大学時代	高橋慶太郎	217
IAUと日本	IAUと日本の天文学の100年 —地上観測分野を中心として— (2)	岡村定矩	231
雑報	日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書 <i>East Asia ALMA Science Workshop</i>	大西響子	240
寄贈図書			242
月報だより			242

【表紙画像説明】

チャンドラ衛星によるティコの超新星残骸のX線画像。中心領域に見えるボコボコとした赤色、青色の塊構造は、それぞれ異なる方向へ飛び散る（異なるドップラー速度を持つ）超新星爆発物質の破片である。これらの塊構造はどのようにして形成されるのだろうか？ この疑問に答えるため、宇宙論でよく用いられている手法「ジーナス統計」が初めて超新星残骸に適用された。

【表紙デザイン】

火星の様子を描きました。私の想像の世界ではこのようにとても赤く輝いています。周りの宇宙の色合いに拘りました。